

## 別紙

## 温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) 丸五ゴム工業株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒710-8505 倉敷市上富井58番地	
本票作成	部署名：品質保証部 品質企画・監査課				
主たる業種	分類コード	19	業種名：ゴム製品製造業		
事業の概要	工業用ゴム・樹脂製品の設計・開発・製造・販売				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	矢掛工場		小田郡矢掛町東川面 417	
	②	倉敷工場		倉敷市上富井58番地	
	③	矢掛江良工場		小田郡矢掛町江良2220	
	④	水江物流センター		倉敷市水江1599	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 <input checked="" type="checkbox"/> (●工場等の数 4 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 6 年度 ~ 令和 6 年度 ( 1 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 △ 1.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input type="checkbox"/> 原単位基準							○
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 5 年度)			目標年度 (令和 6 年度)					
	20,424 t CO <sub>2</sub>			20,625 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 5 年度) の排出量					
	①	矢掛工場		10,148 t CO <sub>2</sub>					
	②	倉敷工場		9,695 t CO <sub>2</sub>					
	③	矢掛江良工場		534 t CO <sub>2</sub>					
	④	水江物流センター		45 t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
			基準年度	目標年度
			t CO <sub>2</sub> / ( )	t CO <sub>2</sub> / ( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 5 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

## 【目標削減率設定の基本的な考え方】

国の方針に従い、2030年までに温室効果ガス排出量を2013年度比△46%の実現を目指し、2030年までのロードマップを作成した。そのロードマップに従い、2024年(令和6年度)の総排出量を設定した。

2023年度 環境報告書 (P.14 2030年までのロードマップ)

<https://www.marugo-rubber.co.jp/environment/img/2023environment.pdf>

**【目標削減率達成のための推進体制】**

- ・2023年から「CN推進部会」を設置し、各ワーキンググループでCO2排出量の削減活動を行っている。
- ・ISO14001を推進し、社目標に2050年「カーボンニュートラル」「省エネ」を掲げて省エネ活動に取り組む。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
①矢掛工場	①矢掛工場 令和3年度・・・天井照明のLED化 (CO2削減量22.4t) 令和4年度・・・ボイラーブロー水廃熱回収装置設置 (CO2削減量22t) 令和5年度・・・非稼働の生産ラインへのコンプレッサエア供給停止 (CO2削減量 20t)
②倉敷工場	②倉敷工場 令和3年度・・・エアコンプレッサー3台更新 (CO2削減量25.2t) 令和4年度・・・エアコンプレッサー1台更新 (CO2削減量 14t) 令和5年度・・・水銀灯・天井照明のLED化 (CO2削減量 58.9t)
③矢掛江良工場	③矢掛江良工場 令和3年度・・・エアコンプレッサー更新 37→22kW(10.6t) 令和4年度・・・成形機2台更新による省エネ (CO2削減3.2t) 令和5年度・・・自家消費太陽光発電の導入 (CO2削減量 9.9t)
④水江物流センター	④水江物流センター 節電による電力量の低減 (CO2削減量 2.3t)

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
①矢掛工場	(令和6年度実施予定) ①矢掛工場 蛍光灯更新 LED化 (CO2削減量 1.9t) 変圧器、リアクトルの更新 (CO2削減量 6t) 蒸気漏れ修理、蒸気配管・機器保温修繕 (CO2削減量 35.2t)
②倉敷工場	②倉敷工場 水銀灯・天井照明のLED化 (CO2削減量 32.2t)
③矢掛江良工場	③矢掛江良工場 変圧器更新更新1台 (CO2削減量 2.9t)
④水江物流センター	④水江物流センター 節電による電力量の低減 (CO2削減量 2.6t)

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	有	モリンガ植林 (カーボンオフセット) の検証開始: 2023年5月～ 岡山県の『モリンガ環境プロジェクト』に入会し、社内の遊休地で植林実験を実施中。今後、モリンガの植林本数を増やしていく (検討中)
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	有	自家消費用太陽光発電の設置 (倉敷工場・矢掛工場)
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ・環境方針を改定し、「カーボンニュートラル実現を目指し、温室効果ガスの排出削減などに取り組むことにより、持続可能な社会の実現に貢献する」として、全社を挙げて取り組む (全社)
- ・「カーボンニュートラル(CN)推進部会」を社内に設置し、活動を行う。
- ・当社のCO2排出量目標として2030年までのロードマップを作成し、目標を達成するために活動を行う。(全社)
- ・社内「環境教育」を行い、カーボンニュートラルやCO2排出抑制の取組みを従業員に周知する。(全社)
- ・QC提案にて従業員から省エネ提案を実施して貰い、社内の節電に取り組んでいる。(全社)
- ・冷暖房設備の使用電力低減のため、クールビズ・ウォームビズ運動に取り組む。(全社)